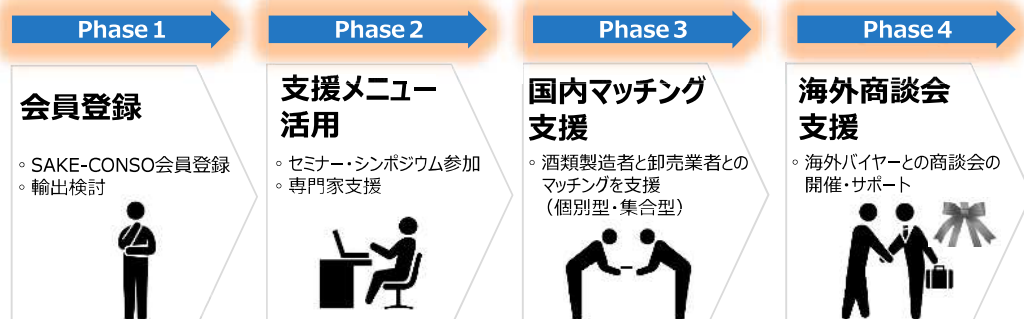


49 日本産酒類輸出促進コンソーシアム

令和2年度より、輸出に意欲的に取り組もうとする輸出商社・卸（地域商社等を含む）と酒類製造者・酒造組合等が参加する「日本産酒類輸出促進コンソーシアム」を立ち上げ、輸出商社等と酒類製造者等のマッチング支援のほか、各種支援メニューを総合的に提供。

特長① 輸出までの手厚いフォロー



（国内マッチングの様様）

- ・日本産酒類輸出促進コンソーシアム登録社数：**約1,300社**（2021年12月末日現在）
- ・令和2年度国内マッチング参加企業総数：**166社**

特長② 充実した支援メニュー



（オンラインセミナーの様様）

～セミナーの内容～

- ・中国の日本産酒類の市場と越境ECの取組みについて
- ・インバウンド需要から見た日本酒プロモーションについて
- ・卸売事業者の輸出戦略について など

50 琉球泡盛のプロモーションについて

沖縄国税事務所では、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を踏まえ、海外における琉球泡盛の認知度向上や輸出促進のため、関係省庁等と連携し、国内外での琉球泡盛PRイベントなどを実施している。

また、国税庁においても上海への泡盛輸出促進事業を行った。

琉球泡盛のWebページ

- ・ 琉球泡盛の主要な輸出先国である米国のバーテンダー等向けに、琉球泡盛の魅力をわかりやすく伝えるためのWebページを作成し情報発信を行った。
- ・ Webページにおいて、米国内における琉球泡盛の調達先等を紹介するなど、琉球泡盛の米国内での取引の促進を図った。



（Webページ内PR動画）

上海への泡盛輸出促進事業

- ・ 令和4年1月15日から1月23日の9日間にわたり、上海の大規模商業施設（上海金虹橋商場）において「泡盛（古酒）の試飲販売」を実施し、中国市場における泡盛の流通を定着させるため、一般消費者の更なる認知度向上を図った。
- ・ 貯蔵年数が3年以上の古酒（コース）は、中国の伝統酒である白酒に香味が近いという特徴を活かし、古酒に特化したラインナップで試飲販売会を実施するとともに、商業施設への来場者以外に対しても、中国人インフルエンサーによるライブコマース（インターネット上での実演販売）等を活用したPRと販売を実施した。



（試飲・販売会の様子）



（ライブコマースの様子）